

授業と評価の年間計画

教 科	理科	科 目	生物探究	
履修条件 対象生徒	必修 普通科 文型 3年			
学習目標	「生物基礎」で学習した内容を踏まえて、実験・演習を通してさらに応用的な内容を学ぶことで生物に対する興味・関心を一層高める。同時に、センター試験「生物基礎」への対応を進める。			
学習方法	<p>【授業】 実験ノート、生物問題集などを用いて生物の共通性と多様性について学ぶ。</p> <p>【家庭】 事前に指示された実験ノート、問題について予習を進めておき、自分の理解度を把握した上で授業を受ける。授業後、その日のうちに復習し、定着を図る。</p> <p>【補習・その他】 定期考査毎に、ノートなどの提出を求める。また、予習状況を不定期に確認することがある。</p>			
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期</p> <p>(1) 中間考査まで ア 生物の特徴</p> <p>(2) 期末考査まで ア 遺伝子とその働き イ 生物の体内環境の維持</p> <p>2 2学期</p> <p>(1) 中間考査まで ア 生物の多様性と生態系</p> <p>(2) 期末考査まで ア 総合演習</p> <p>3 3学期</p> <p>(1) 学年末まで ア 総合演習</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>共通性と多様性をあわせもつ生物の特性を学ぶ。</li> <li>遺伝情報とDNAの関係について学ぶ。</li> <li>体内環境を安定化させるしくみについて学ぶ。</li> <li>生物とそれを取り巻く環境の関わり合いを学ぶ。</li> <li>問題演習を通して、これまでの学習内容の理解を深める。</li> <li>問題演習を通して、これまでの学習内容の理解を深め、考察力を高める。</li> </ul>	
評価規準	知識・理解	技 能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
	自然の事物・現象について、基本的な原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に整理することができる。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、科学的に考察し、的確に表現できる。	自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとする科学的態度を身に付けている。
評価方法	定期考査、授業態度、課題・提出物、小テストの状況などを踏まえ、総合的に判断して評価する。			
そ の 他	授業で取り扱う内容とにとどまらず、身近な社会問題や科学ニュースについて情報収集し、図説なども参考にしながら科学的に考えようとする姿勢を持つことが重要である。			